医療福祉・体験プログラム
（奥会津地域医療体験研修）
（2011/08/04～06）

第8回福島アドバンスド・コース（FACE）
（2011/08/20～21）

奈良県立医科大学 学生ボランティア 来県
（相馬市内仮説サロンでのボランティア活動にて）
（2011/08/26～30）

医療人育成・支援センターだより

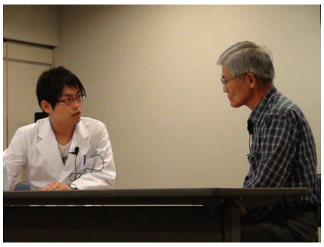
第8号　2011年10月発行

平成23年度・医学教育ワークショップが開催
～ ポートフォリオとテュートリアルについて学ぶ ～

さる9月10日（土）に医学部のFD（faculty development）として医学教育ワークショップが開催されました。臨床系は『臨床実習ポートフォリオ』、基礎・総合科学系は『テュートリアル』のコース設定で全日、講師の先生方のレクチャーとグループ学習を通じて学びました。まとまった時間を設定して他講座の先生方との共同作業の経験は貴重であったとの意見が多く寄せられました。
現在、本学医学部5年生の臨床実習において文部科学省採択のGP事業“双方向性オールインワン実習手帳の開発”がトライアル運用されています。臨床実習担当教員がこの背景や教育的意義を深く理解する企画として役に立てて頂けたようです。また、テュートリアル教育についても実際のPBL（problem-based learning）授業の充実に反映させたいという意見が寄せられました。開催の詳細は、
http://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/
をご覧ください。

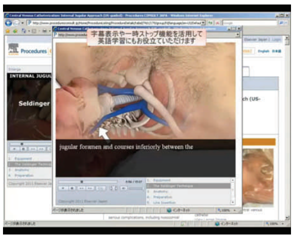
模擬患者さんレベルアップセミナー in 東北 2011
～SP（Simulated Patient）参加型実習での学びの質をアップさせるために～

医学生・看護学生・研修医の医療面接の学習に協力していただいている模擬患者さんらが集った公開セミナーがコラッセふくしまで、10月22日に開催されました。今回3回目になるこのセミナーには、福島医大の模擬患者の会のSPさんに加えて、東北大学医学部で活動している仙台SP研究会DAtTE、山形保健医療大学で活動している響き合いネットワーク山形SP研究会のSPさん達が加わって下さいました。
それぞれのグループとして行っている医療人教育への協力の状況を報告し、また、シナリオ演習を通じた交流が行われました。学習者へのフィードバックの仕方など、多くのSPさんの疑問に答える講演も行い、充実した企画となりました。



Procedures CONSULT（プロシージャーズ・コンサルト）のトライアルを開始します

本年11月から年末までエルゼビア・ジャパン社の臨床手技のショートムービーを集めたProcedures CONSULTのトライアができることになりました。
Procedures CONSULTは、オンラインで提供する臨床手技の動画データベースです。米国で開発された日常診療の手技動画を日本の臨床手技に合わせて再編集（現在110の手技を収載）し、“完全日本化”されています。チェックテスト機能で理解度も確認できるほか、エビデンスに基づいた詳細な解説（禁忌・術後ケア・合併症のリスクなど）も参照できます。
来年1月に利用アンケートを行いますので、ご協力ください。



● **アクセス方法**

URL://proceduresconsult.jp へアクセスし、画面右上の「ログイン」より、下記情報を入力しお入りください。

ＩＤ：学生の場合
　fmu ＋学生番号（0から始まる5桁の番号）
　（例　fmu01234）
講座の場合
　fmu ＋講座ＩＤ
　（例　医療人育成・支援ｾﾝﾀｰの場合fmucmecd）
パスワード：fmufmu
　（※パスワードはログイン後に各自変更可能）

パソコンの他、iPad、iPod touch、スマートフォンからもアクセス可能です。
インターネット環境があれば、どこからでもアクセスできます。

活動報告

◆第３回診断推論セミナー

9月17～18日に今年も名古屋第二赤十字病院　救急・総合内科部長の野口善令先生をお招きし、第3回診断推論セミナーを開催しました。
県内外から医学生や研修医、また第一線で活躍されている医師まで25名の方が参加し合宿形式で行われました。
参加者には「実習ではなかなか学べない診断学に触れることができ、普段実習で得る刺激とはまた違った刺激を受けることができた」「診断に向かうプロセスを理解し、自分に何がたりないかということを把握するきっかけになった」など、今後の診療や勉強への良い動機付けが出来たセミナーとなったようです。野口先生、どうもありがとうございました。

◆学校見学

今年度も県内の数多くの中学生・高校生のみなさんが本学を見学に訪れました。

＊8月 2日　福島県立川俣高等学校　1年生
＊8月19日　福島県磐城第一高等学校　1～3年生
＊9月30日　福島県立光南高等学校　1年生

この他、7月末までに中学校・高校合わせて7校の学生のみなさんが本学を訪れ、スキルラボや模擬授業を体験しました。

◆奈良県立医科大学 学生ボランティアが来県（来学）

奈良県立医科大学の学生ボランティアのみなさんが、8月26～30日の日程で福島県を訪れ、相馬市や南相馬市の仮説サロンで健康調査などのボランティア活動を行いました。そのほか、震災発生後の福島県内の医療について理解を深めるため、本学の医師や被災地で活躍された先生からの講義、また本学学生ボランティアからは被災直後や被災後のボランティア活動についての活動報告を受け、被災地福島県が置かれている現状を理解し帰郷されました。
また、今回、奈良県立医科大学様から本大学へ259，599円の義援金をいただきましたこと、ここにご報告申し上げるとともに、心より御礼を申し上げます。

女性医師支援活動

◆女性医師・研究者等と学生との交流会

7月20日（水）、光が丘会館にて『女性医師・研究者等と学生との交流会』を開催しました。
この交流会は、学生が社会人としての高い意識を持ちつつ、夢や目標に向かい努力できる環境を整え、キャリアプラン形成を援助し、また現場の医師に対しては、多様なライフイベントに対応して「働き続けられる」「一時離職しても復職できる」環境を整備・支援するため、定期的に開催しているものです。
学生の身近なロールモデルとなる先輩医師から自身の子育てと医師としての仕事の両立について経験を踏まえお話いただき、終了後の茶話会では、ワーク・ライフ・バランスを保ちながら医療人として活躍するための意見交換会等、遅くまで会話が弾みました。

◆第２回女性医師・研究者支援シンポジウム

9月17日（土）、コラッセふくしま（福島市）にて『第2回女性医師・研究者支援シンポジウム』を開催しました。
県内へ女性医師支援センター活動の報告と取り組みを紹介するとともに、すでに先駆的女性医師支援をされている自治医科大学の女性医師支援センター長や医師・基礎研究と子育てを両立しキャリア形成をしている先生方、また、女性医師・研究者支援はどうあるべきかについてジェンダーの専門家もお招きし、ご講演いただきました。
このシンポジウムは、県内医師・研修医をはじめ、医学生、医師に限らず男女共同参画・女性のキャリア形成等に興味のある一般の方などを含めた53名の方に参加いただきました。

今後の予定

女性医師・研究者等と学生の交流会
日時　平成２３年12月１４日（水）１６：３０～
場所　福島県立医科大学 内

information

November 11月

第9回 English Communication Skill Seminar
月　日　平成２３年１１月１５日（火）
講　師　東京医科大学国際医学情報センター
　　　　センター長　J.パトリック.バロン 先生

第９回福島アドバンスド・コース（FACE）
月　日　平成23年11月19～20日（土・日）
場　所　緑風苑（福島県郡山市）

January 1月

平成２３年度新臨床研修指導医研修会
月　日　平成24年1月7～8日（土・日）
場　所　本学　８号館（看護学部棟）４階

February 2月

平成２３年度 全員参加ＦＤ講習会
月　日　平成24年２月10日（金）
場　所　本学　講堂
講　師　福島県三春町　福聚寺住職
　　　　玄侑　宗久　氏（芥川賞作家）

第10回福島アドバンスド・コース（FACE）
日　時　平成24年2月11～１２日（土・日）
場　所　緑風苑（福島県郡山市）

平成２３年度 海外研修
月　日　平成24年2月12～１８日（日～土）
研修先　シンガポール

福島県立医科大学　医療人育成・支援センター（CMECD）
〒960-1295　福島県福島市光が丘1
Tel：024-547-1047 ／ Fax：024-547-1715
e-mail：CMECD@fmu.ac.jp　／ HP：http://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/index.html